

3 防災訓練実施状況

(1) 福岡県総合防災訓練参加機関等一覧表

回	年度	訓練日	共催市町村	訓練実施場所	地域	消防本部	参加機関	訓練人員	車両	船舶	航空機	訓練種目
1	40	昭和40年5月20日(木)	久留米市	久留米市筑後川河川敷(久留米大橋下流)	県南	久留米市消防本部		2,500				
2	41	昭和41年6月3日(金)	杷木町	杷木町筑後川河川敷(昭和橋下流)	県央	甘木朝倉消防本部						
3	42	昭和42年6月10日(土)	芦屋町	芦屋町遠賀川河川敷	県北	遠賀消防本部						
4	43	昭和43年6月7日(金)	久留米市	久留米市筑後川河川敷(久留米大橋下流)	県南	久留米市消防本部						
5		昭和43年6月13日(木)	図上訓練	(消防会館)								
6	44	昭和44年5月30日(金)	飯塚市	飯塚市遠賀川河川敷(立岩)	県北	飯塚地区消防本部	13	800				
7	45	昭和45年6月8日(月)	瀬高町	瀬高町矢部川河川敷(船小屋)	県南	瀬高町外二町消防本部						
8	46	昭和46年6月18日(金)	行橋市	行橋市今川河川敷(今川大橋上流)	県北	行橋消防本部						
中止	47	昭和47年5月30日(火)	甘木市 田主丸町	甘木市・田主丸町筑後川河川敷	県央	甘木朝倉消防本部 県南広域消防本部						
9	48	昭和48年5月18日(金)	八女市 立花町	八女市・立花町矢部川河川敷(中川原橋上流)	県南	八女消防本部						
10	49	昭和49年5月21日(火)	杷木町 吉井町	杷木町・吉井町筑後川河川敷(原鶴橋下流)	県央	甘木朝倉消防本部 県南広域消防本部						
11	50	昭和50年6月4日(水)	直方市	直方市遠賀川河川敷(日の出橋下流)	県北	直方市消防本部		1,300				
12	51	昭和51年5月31日(月)	津屋崎町	津屋崎町海岸(渡)	県央	宗像消防本部						
13	52	昭和52年5月16日(月)	志摩町	志摩町(芥屋漁港)	県央	糸島消防本部		900				
14	53	昭和53年6月1日(木)	城島町	城島町筑後川河川敷(浜)	県南	県南広域消防本部						
15	54	昭和54年6月6日(水)	福岡市	福岡市東区雁の巣(雁の巣レクリエーションセンター南側海岸)	県央	福岡市消防局	23	1,493	79	10	8	36
16	55	昭和55年6月9日(月)	飯塚市	飯塚市遠賀川河川敷(立岩)	県北	飯塚地区消防本部						
17	56	昭和56年5月8日(金)	芦屋町	芦屋町(西浜町海岸埋立地)	県北	遠賀消防本部	26	1,207	99	7	11	36
18	57	昭和57年5月12日(水)	吉井町	吉井町筑後川河川敷(千年地先)	県南	県南広域消防本部	26	1,200	67	3	8	36
19	58	昭和58年5月26日(木)	苅田町	苅田町海岸埋立地(新浜町地先)	県北	苅田町消防本部	29	1,244	104	8	8	37
20	59	昭和59年5月23日(水)	八女市	八女市矢部川河川敷(矢原地先)	県南	八女消防本部	30	923	59	1	8	31
21	60	昭和60年5月24日(金)	二丈町	福吉漁港(二丈町)	県央	糸島消防本部	37	935	52	6	8	35
22	61	昭和61年5月20日(火)	久留米市	久留米市筑後川河川敷(小森野橋上流)	県南	久留米市消防本部	29	1,244	88	1	7	34
23	62	昭和62年5月19日(火)	吉富町	吉富町山国川河川敷(山国大橋上流)	県北	京築広域消防本部	38	1,128	89		7	37
24	63	昭和63年5月26日(木)	玄海町	鐘崎漁港(玄海町)	県央	宗像消防本部	43	1,162	84	6	10	30
25	元	平成1年5月26日(金)	大川市	大川市筑後川河川敷(大川市総合運動公園)	県南	大川市消防本部	36	1,080	115	3	14	30
26	2	平成2年5月24日(木)	八女市	八女市矢部川河川敷(矢原地先)	県南	八女消防本部	43	965	122		8	30
27	3	平成3年5月24日(金)	直方市	直方市遠賀川河川敷(日の出橋上流)	県北	直方市消防本部	32	972	101		8	30
28	4	平成4年5月29日(金)	志摩町	船越漁港(志摩町)	県央	糸島消防本部	47	865	72	13	16	19
29	5	平成5年5月25日(火)	大牟田市	三池港(大牟田市)	県南	大牟田市消防本部	54	1,115	108	14	23	24
30	6	平成6年5月24日(火)	中間市	遠賀川河川敷(中間市大字中間)	県北	中間市消防本部	38	677	84	1	26	25
31	7	平成7年5月24日(水)	田川市	田川市遠賀川河川敷(大字橋)	県北	田川市消防本部	64	823	130	6	16	26
32	8	平成8年5月23日(金)	筑紫野市 太宰府市	筑紫野市天拝坂開発地区(杉原・塔原地区)	県央	筑紫野太宰府消防本部	98	1,191	199		12	17
33	9	平成9年6月5日(木)	筑後市 八女市 瀬高町	九州松下電器筑後工場(筑後市) 矢部川河川敷、八幡小学校(八女市) 矢部川中の島公園(瀬高町)	県南	筑後市消防本部 八女消防本部 瀬高町外二町消防本部	105	2,000	180		12	67
34	10	平成10年5月28日(木)	北九州市	新門司フェリーターミナル(北九州市門司区周辺)	県北	北九州市消防局	79	1,500	210	11	11	27
中止	11	平成11年8月31日(木)	鞍手郡4町	地域振興整備公園工場団地造成地(富田町)	県北	直方鞍手消防本部	(予定)	1,300	140		9	20
35	12	平成12年5月26日(金)	福岡市	香椎パークボート(福岡市東区)	県央	福岡市消防局	100	2,000	180		2	45
36	13	平成13年5月25日(金)	粕屋地区 1市7町	久山町サッカー場(糟屋郡久山町)	県央	粕屋南部消防本部 粕屋北部消防本部	110	3,500	120		8	42
37	14	平成14年5月29日(水)	甘木朝倉地区 1市4町2村	筑後川河川敷(甘木市大字長田地先)	県央	甘木朝倉消防本部	120	4,200	130			47
38	15	平成15年6月1日(日)	小郡市他 4市3町	筑後小郡簡保レクセンター跡地(小郡市三沢字ハサコ宮5208-1)	県央	県南広域消防本部 春日大野城那珂川消防本部	120	4,500	180		7	40
39	16	平成16年5月30日(日)	柳川市他 1市5町	三井鉱山(株)所有地(柳川市大字橋本町中東区7番11)	県南	柳川消防本部 筑後市消防本部	93	1,500	160		6	32
40	17	平成17年6月5日(日)	嘉飯山地区	飯塚市遠賀川河川敷(目尾地区)	県北	飯塚地区消防本部	109	1,400	160		9	35
41	18	平成18年5月28日(日)	福津市 宗像市	福岡漁港(福津市)	県央	宗像消防本部	95	1,400	120	7	12	32
42	19	平成19年6月3日(日)	大川市	筑後川総合運動公園(大川市大字大野島)	県南	大川市消防本部	103	1,400	150	10	14	34
43	20	平成20年5月25日(日)	行橋市	行橋総合公園(行橋市大字今井)	県北	行橋消防本部	64	1,300	130	7	9	39

回	年度	訓練日	開催市町村	訓練実施場所	地域	消防本部	参加 機関	訓練 人員	車両	船舶	航空機	訓練 種目
44	21	平成21年5月24日 (日)	筑紫野市 太宰府市	宝満川上流浄化センター用地ほか4箇所 (筑紫野市大字諸田)	県央	筑紫野太宰府消防本部	120	1,200	130	0	7	37
45	22	平成22年5月30日 (日)	久留米市	筑後川河川敷 (久留米市二千年橋上流)	県南	久留米広域消防本部	180	2,200	160	1	11	37
46	23	平成23年6月5日 (日)	遠賀郡4町	芦屋港 (遠賀郡芦屋町西浜町)	県北	遠賀郡消防本部	150	1,300	160	3	12	37
47	24	平成24年6月3日 (日)	糸島市	船越漁港 (糸島市志摩船越)	県央	糸島市消防本部	120	1,900	140	5	11	40
48	25	平成25年6月2日 (日)	大牟田市	日本コース工業用地 (大牟田市新港町)	県南	大牟田市消防本部	120	1,850	140 (128)	3	8 (1)	36
49	26	平成26年6月1日 (日)	苅田町	苅田港南港地区 (苅田町新浜町)	県北	苅田町消防本部	140	1,300	130	7	10	34
50	27	平成27年5月31日 (日)	福岡市	福岡県警察訓練場跡地 (福岡市東区奈多)	県央	福岡市消防局	120	1,900	150	11	6	34
51	28	平成28年5月29日 (日)	柳川市	柳川市橋本町	県南	柳川市消防本部	熊本地震対応のため、中止					
52	29	平成29年5月28日 (日)	吉富町 他1市3町	吉富漁港 (吉富町大字小祝)	県北	京築広域消防本部	100	2,200	87	3	9	38
53	30	平成30年6月3日 (日)	古賀市 他1町	玄望園地区ほか1か所(相島) (古賀市荏内)	県央	粕屋南部消防本部 粕屋北部消防本部	90	1,300	110	1	8	32
54	元	令和1年6月2日 (日)	広川町 みやま市	ロームアポロ(株)グラウンド(広川町) みやま市消防本部屋外訓練場(みやま市) ほか5か所	県南	八女消防本部 みやま市消防本部	100	1,800	130	2	8	30
55	2	令和2年5月31日 (日)	直方市 中間市	直方市遠賀川河川敷グラウンド(直方市) 中間市遠賀川河川敷駐車場(中間市) ほか3か所	県北	直方市消防本部 中間市消防本部	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、翌年度へ延期					
56	3	令和3年10月23日 (土)	直方市 中間市	直方市遠賀川河川敷グラウンド(直方市) 中間市遠賀川河川敷駐車場(中間市) ほか2か所	県北	直方市消防本部 中間市消防本部	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止					
57	4	令和4年5月29日 (日)	篠栗町 須恵町	カプトの森公園(篠栗町) 健康広場(須恵町) ほか2か所	県央	粕屋南部消防組合消防本部	80	1,100	100		5	36

福岡県石油コンビナート等総合防災訓練実施状況一覧表

回	年度	訓練日		訓練実施場所	地域区分	参加機 関数	訓練 人員	車両	船舶	航空機	訓練種 目数
1	56	昭和56年11月26日	(木)	北九州市若松区 響灘埋立地及び周辺海上	北九州	16	322	32	14	2	24
2	57	昭和57年9月2日	(木)	福岡市中央区荒津 荒津給油センター及び周辺海上	福岡	33	541	56	19	3	38
3	58	昭和59年2月10日	(金)	豊前市八屋 九州電力豊前発電所及び周辺海上	豊前	20	483	58	9	4	31
4	59	昭和59年11月13日	(火)	北九州市小倉北区西港町 日本石油北九州油槽所及び周辺海上	北九州	18	277	45	9	1	30
5	60	昭和60年8月29日	(木)	福岡市中央区荒津 荒津給油センター及び周辺海上	福岡	25	465	57	16	3	37
6	61	昭和61年9月2日	(火)	京都郡苅田町長浜町 九州電力苅田発電所及び周辺海上	苅田	20	412	44	5	2	35
7	62	昭和62年9月3日	(木)	北九州市小倉北区西港町 日本石油北九州油槽所及び周辺海上	北九州	20	337	50	9	3	32
8	63	昭和63年8月30日	(火)	福岡市中央区荒津2丁目 荒津給油センター及び周辺海上	福岡	26	429	61	11	1	37
9	元	平成1年8月30日	(水)	豊前市八屋 九州電力豊前発電所及び周辺海上	豊前	19	253	41	11	3	33
10	2	平成2年11月6日	(火)	北九州市門司区新門司2丁目 出光興産門司油槽所及び周辺海上	北九州	33	330	41	8	4	32
11	3	平成3年9月5日	(木)	福岡市中央区荒津1丁目・2丁目 荒津石油基地及び周辺海上	福岡	41	474	69	16	7	22
12	4	平成4年10月22日	(木)	豊前市八屋 九州電力豊前発電所及び周辺海上	豊前	34	628	47	16	11	22
13	5	平成5年10月14日	(木)	北九州市戸畑区大字戸畑 新日本製鐵八幡製鐵所及び周辺海上	北九州	32	641	53	23	12	22
14	6	平成6年8月31日	(水)	福岡市中央区荒津1丁目・2丁目 荒津石油基地及び周辺海上	福岡	23	494	57	15	4	26
15	7	平成7年10月19日	(木)	豊前市八屋 九州電力豊前発電所及び周辺海上	豊前	36	891	49	23	10	26
16	8	平成8年8月7日	(水)	北九州市若松区沖 白鳥石油備蓄基地及び周辺海上	白鳥	30	964	13	51	13	20
17	9	平成9年9月4日	(木)	福岡市中央区荒津1丁目・2丁目 荒津石油基地及び周辺海上	福岡	31	476	62	17	3	27
18	10	平成10年9月3日	(木)	豊前市八屋 九州電力豊前発電所及び周辺海上	豊前	36	500	45	12	5	24
19	11	平成11年11月18日	(木)	北九州市小倉北区西港町 日石三菱北九州油槽所及び周辺海上	北九州	33	410	72	14	3	23
20	12	平成12年10月17日	(火)	福岡市中央区荒津1丁目・2丁目 荒津石油基地及び周辺海上	福岡	31	400	54	16	3	29
21	13	平成13年9月12日	(水)	豊前市八屋 九州電力豊前発電所及び周辺海上	豊前	37	400	51	11	4	26
22	14	平成14年8月28日	(水)	北九州市若松区沖 白鳥石油備蓄基地及び周辺海上	白鳥	30	550	26	31	7	21
23	15	平成15年9月11日	(木)	福岡市中央区荒津1丁目・2丁目 荒津石油基地及び周辺海上	福岡	30	320	40	9	6	28
24	16	平成16年9月8日	(水)	豊前市八屋 九州電力豊前発電所及び周辺海上	豊前	台風接近により中止					
25	17	平成17年11月9日	(水)	北九州市小倉北区西港 東西オイルターミナル(株)北九州油槽 所及び周辺海上	北九州	41	350	41	10	5	26
26	18	平成18年9月4日	(月)	福岡市中央区荒津1丁目・2丁目 荒津石油基地及び周辺海上	福岡	26	200	8	12	3	26
27	19	平成19年10月19日	(金)	豊前市八屋 九州電力豊前発電所及び周辺海上	豊前	26	200	8	12	3	26
28	20	平成20年10月16日	(木)	北九州市若松区 白鳥国家石油備蓄基地及び周辺海上	白鳥	28	400	6	14	6	20
29	21	平成21年9月9日	(水)	福岡市中央区荒津1丁目・2丁目 荒津石油基地及び周辺海上	福岡	35	400	31	11	5	25
30	22	平成22年9月8日	(水)	豊前市八屋 九州電力豊前発電所及び周辺海上	豊前	35	340	16	13	7	21
31	23	平成24年1月31日	(火)	国と共同による国民保護図上訓練で実施	北九州	16	300	-	-	-	-
32	24	平成24年9月6日	(木)	福岡市中央区荒津1丁目・2丁目 荒津石油基地及び周辺海上	福岡	29	400	28	7	4	27
33	25	平成25年9月4日	(水)	豊前市八屋 九州電力豊前発電所及び周辺海上	豊前	大雨洪水警報により中止					
34	26	平成26年10月21日	(火)	北九州市若松区 白鳥国家石油備蓄基地及び周辺海上	白鳥	34	400	4	12	5	20
35	27	平成27年11月18日	(水)	福岡市中央区荒津1丁目・2丁目 荒津石油基地及び周辺海上	福岡	24	400	23	6	2	28
36	28	平成28年11月16日	(水)	豊前市八屋 九州電力豊前発電所及び周辺海上	豊前	31	300	21	13	2	22
37	29	平成29年10月16日	(月)	国と共同による国民保護図上訓練で実施	北九州	13	100	-	-	-	-
38	30	平成30年11月22日	(木)	福岡市中央区荒津1丁目・2丁目 荒津石油基地及び周辺海上	福岡	23	400	19	6	1	22
39	31/元	-	-	-	豊前	特別防災区域解除に係る中止					
40	2	令和2年11月4日	(水)	北九州市若松区 白鳥国家石油備蓄基地及び周辺海上	白鳥	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止					
41	3	令和3年8月25日	(水)	各機関執務室(県:災害対策本部室)	福岡(西戸崎)	8	20	-	-	-	2
42	4	令和4年8月26日	(金)	各機関執務室(県:災害対策本部室)	北九州	8	20	-	-	-	1

(1)市町村防災訓練実施状況

「消防防災・震災対策現況調査：26表」より作成(対象期間：2022年度中)(速報値)

団体名称	訓練回数	訓練想定									訓練形態			
		風水害	土砂災害	地震・津波	コンビナート災害	大火災	林野火災	原子力災害	火山災害	その他	総合訓練(実働)	図上訓練	通信訓練	その他
福岡県計	99	44	14	31	0	0	5	2	0	20	55	27	6	8
単独消防本部(局)設置市町														
北九州市	15	1		2						12	2	13		
福岡市	6	2		3				1			5	1		
大牟田市	3	2		1						1	3			
直方市	1		1								1			
柳川市	1	1									1			
筑後市	1	1									1			
大川市	2	2		1							2			
行橋市	0													
中間市	2			2							2			
みやま市	1		1									1		
糸島市	2	1	1					1			1	1		
荏田町	1	1										1		
久留米広域市町村圏事務組合構成市町														
久留米市	1		1								1			
小郡市	0													
うきは市	1	1	1								1			
大刀洗町	0													
大木町	3	2		1							1		2	
八女地区消防組合構成市町														
八女市	0													
広川町	0													
筑紫野太宰府消防組合構成市														
筑紫野市	2	2												2
太宰府市	1			1							1			
飯塚地区消防組合構成市町														
飯塚市	2	1		1								2		
嘉麻市	2	2									2			
桂川町	0													
春日・大野城・那珂川消防組合構成市町														
春日市	5	3		2							3	2		
大野城市	5	2		2						1	4	1		
那珂川市	1	1									1			
田川地区消防組合構成市町村														
田川市	1	1	1	1						1		1		
香春町	1	1											1	
添田町	0													
糸田町	1	1									1			
川崎町	0													
大任町	1	1									1			
赤村	0													
福智町	0													
京築広域市町村圏事務組合構成市町														
豊前市	3	1		3							2	1		
みやこ町	4	4										1		
吉富町	1	1	1	1							1			
上毛町	0													
築上町	0													

団体名称														
直方・鞍手市町村圏事務組合構成市町														
宮若市	3	3	3											3
小竹町	0													
鞍手町	0													
甘木・朝倉市町村圏事務組合構成市町村														
朝倉市	2			2									2	
筑前町	2		1	1						2				
東峰村	2		1				1			2				
粕屋南部消防組合構成町														
宇美町	0													
篠栗町	7	1		1			2			3	4			3
志免町	1									1	1			
須恵町	0													
久山町	0													
粕屋町	1	1		1								1		
宗像地区消防組合構成市														
宗像市	0													
福津市	2			2							1		1	
粕屋北部消防組合構成市町														
古賀市	1	1										1		
新宮町	3						2			1	3			
遠賀・中間広域行政事務組合構成町														
芦屋町	2	1	1	2							2			
水巻町	1	1									1			
岡垣町	1	1	1								1			
遠賀町	1			1							1			

(4) 令和4年度福岡県総合防災訓練(第57回)

1 目的

- (1) 県、市町村、防災関係機関の災害時の連携強化
- (2) 県、市町村、防災関係機関の防災技術の向上
- (3) 県民の防災意識の高揚

2 開催日

令和4年5月29日(日) 10:00~12:10

3 会場

- (1) 篠栗町会場：カブトの森公園(主会場)
クリエイト篠栗(避難所運営訓練)
- (2) 須恵町会場：健康広場(主会場)
あおば会館(避難所運営訓練)

4 主催

福岡県、篠栗町、須恵町

5 参加機関

消防、警察、自衛隊、医療機関等の防災関係機関約80機関

6 参加予定人員

約1,100名

7 参加車両等

車両：約100台
航空機：5機

8 災害想定

(1) 風水害

1時間に約130ミリの記録的短時間大雨により、篠栗町及び須恵町を中心に浸水被害等が発生。

(2) 地震

宇美断層を震源地とするマグニチュード7.1、最大震度6強の地震により、家屋の倒壊、火災等が発生。

さらに、大雨と地震により多々良川、須恵川の堤防が損壊し溢水。

9 訓練の特徴

大規模災害発生時の対応訓練として、複数の市町村が同時に被災したケースを想定し、篠栗町、須恵町の2か所で同時に、他市町村や関係機関との連携訓練を実施。自助・共助の観点から、避難行動要支援者を含む地域住民の避難訓練や、避難所運営訓練などの住民参加型訓練を、新型コロナウイルス感染症等の感染対策を行った上で実施。

(1) 情報収集・伝達訓練

県災害時受援計画に基づく支援・要請訓練、被災情報収集・伝達訓練 等

(2) 救出救護訓練

孤立者救出訓練、応急救護所設置訓練 等

(3) その他災害対応訓練

アマチュア無線による非常通信訓練やライフライン応急復旧訓練 等

10 一般見学者向けイベント

篠栗町、須恵町の各会場では、訓練に合わせて下記のイベントを実施

(1) 篠栗町会場

- ・福岡県警察：パトカー等車両の展示
- ・九州電力：発電機車両の展示
- ・西日本電信電話（株）：災害用伝言ダイヤル171の体験 等

(2) 須恵町会場

- ・福岡酸素株式会社：水素自動車の展示
- ・(株)リアライズエナジー：災害時の停電に備えるUSB電源
- ・福岡県土整備事務所：県の排水ポンプ車紹介 等

令和4年度福岡県総合防災訓練 訓練種目（篠栗町会場）

訓練番号	訓練種目	
1	高齢者等避難・指定緊急避難場所設置運営訓練	○町と女性消防隊が、要配慮者を指定緊急避難所（クリエイト篠栗）へ避難誘導。 ○感染症対策を実施の上、避難者の受入れ訓練を実施。
2	災害想定発表及び安全確保訓練	○消防本部（消防長）が総括訓練本部長（知事）に対し訓練開始報告。 ○会場の全員が参加し、地震発生時の避難行動訓練を実施。
3	災害対策本部設置運営訓練	○篠栗町災害対策本部を設置。消防、自衛隊、国、県等の防災関係機関が情報連絡員（リエゾン）を派遣し、情報収集を実施。
4	指定緊急避難場所介護及び健康管理訓練	○町が、発熱のある避難者を受け入れる際の訓練等を実施。
5	医療機関災害支援情報入力訓練	○医療機関が、県広域災害・救急医療情報システムによる災害支援情報入力訓練を実施。
6	アマチュア無線による非常通信訓練	○日本アマチュア無線連盟福岡県支部が、無線を有効活用し篠栗町・須恵町との情報共有を実施。
7	避難指示及び災害情報発信訓練	○災害対策本部長（町長）が避難指示を発令。町は避難指示情報の住民への伝達を実施。
8	消防相互応援協定に基づく応援要請、自衛隊派遣要請、緊急消防援助隊進出訓練	○町が県に対し、消防相互応援協定に基づく消防応援要請及び自衛隊法に基づく自衛隊の災害派遣要請等を実施。
9	災害派遣医療チーム（DMAT）派遣要請訓練	○消防本部から派遣要請を受けた指定医療機関が、がれきの下の医療やトリアージを行う災害派遣医療チーム（DMAT）を派遣する。
10	情報収集・伝達訓練	○消防、警察、国、県や自衛隊等が、ヘリや車両により災害発生直後の偵察を実施。
11	受援・支援要請訓練	○町が必要な人的支援・物的支援情報を集約し、県に対し、応援要請を実施。
12	集結訓練・応急救護所設置訓練	○応援要請を受けた地域の消防本部・消防団が集結し、応援活動を実施。
13	自主防災組織による初期消火、搬送訓練	○町の消防団・少年消防クラブ・女性消防隊が、初期消火や搬送訓練を実施。 ○日本赤十字社福岡県支部が、救急救命訓練及びAED使用訓練を実施。
14	食料供給訓練	○町の消防団、女性消防隊が、被災者に対し非常食及び飲料水の供給を実施。
15	道路啓開訓練	○町が、県土木組合連合会、県森林組合連合会及び日本自動車連盟の協力により、倒木の撤去等、道路啓開を実施。
16	要救助者捜索訓練	○消防本部が、ドローンを活用した被害状況を把握、要救助者の捜索を実施。
17	倒壊家屋、座屈ビル、埋没車両からの救出訓練	○災害救助犬による要救助者捜索を実施。消防本部、警察、陸上自衛隊及び災害派遣医療チーム（DMAT）が連携して救出訓練を実施。
18	応急危険度判定訓練	○町の依頼に応じ、県及び福岡県建築士会が被災建物の応急危険度判定を実施。
19	孤立者救出搬送訓練	○航空自衛隊ヘリ、海上保安本部ヘリが、孤立地区からの住民救出を実施。
20	ライフライン応急復旧訓練	○県LPガス協会、NTT、県石油商業組合、九州電力及び福岡電業協会がガス・通信・電力等ライフラインの応急復旧を実施。
21	大規模火災防ぎょ訓練	○消防団及び福岡市消防局ヘリによる一斉放水訓練を実施。
	イベント展示	

令和4年度福岡県総合防災訓練 訓練種目（須恵町会場）

訓練 番号	訓 練 種 目	
1	災害想定発表	○消防本部(次長)が総括訓練本部長(副知事)に対し訓練開始報告。
2	緊急地震速報対応訓練	○会場の全員が参加し、地震発生時の避難行動訓練を実施。
3	災害対策本部設置運営訓練	○須恵町災害対策本部を設置。消防、自衛隊、国、県等の防災関係機関が情報連絡員(リエゾン)を派遣し、情報収集を実施。
4	高齢者等避難・指定緊急避難場所設置運営訓練	○町が日本カーペットタイルリセット協会の協力により設置した避難所(あおば会館)に、福岡警備協会と連携して車いす利用者の住民避難訓練を実施。 ○県動物愛護センターや県獣医師会と協力して、実際にペットを帯同した避難者の受入れ訓練を実施。 ○医師会・看護協会による避難住民の健康管理、災害時応援協定に基づく医薬品の搬送等を行う。
5	備蓄医薬品等搬送要請及び災害時医薬品供給車両(モバイルファーマシー)派遣要請訓練	○町が県に対し、避難所等への医薬品供給支援を要請。県薬剤師会・県医薬品卸業協会及び県医療機器協会が、備蓄医薬品等の搬送及びモバイルファーマシー派遣を実施。
6	医療機関災害支援情報入力訓練	○医療機関が、県広域災害・救急医療情報システムによる災害支援情報入力訓練を実施。
7	アマチュア無線による非常通信訓練	○日本アマチュア無線連盟福岡県支部が、無線を有効活用し篠栗町・須恵町との情報共有を実施。
8	災害情報伝達訓練	○県から町に対し、気象台の大雨等気象情報を伝達。町が県に対し、被害情報等の報告を実施。
9	避難指示発令訓練	○災害対策本部長(町長)が避難指示を発令。町は避難指示情報の住民への伝達を実施。
10	避難行動訓練	○消防本部・消防団が、火災発生時における避難方法を確認し、担架や車椅子での階段における搬送訓練を実施。
11	初期消火・救護訓練	○町の消防団・少年消防クラブ・女性消防隊が、初期消火や搬送訓練を実施。 ○日本赤十字社福岡県支部が、医療救護活動及びレクチャー(心肺蘇生法)を実施。
12	救援物資搬送訓練	○町が給水車による断水時の給水訓練を実施。 ○消防団・粕谷農業協同組合が県トラック協会の協力により救援物資搬送を実施。
13	食料供給訓練	○町が消防団・商工会・粕谷農場協同組合の協力により、災害用保存食等の供給を実施。
14	密集市街地火災防ぎょ訓練	○消防団による一斉放水訓練を実施。
15	災害ボランティアセンター	○県及び町の社会福祉協議会、日本赤十字社福岡県支部及び消防団が、災害ボランティアセンターの運営訓練を実施。
	イベント展示	

令和4年度福岡県原子力防災訓練について（概要）

1 訓練実施目的

「原子力災害対策特別措置法」や「原子力災害対策指針」では、万が一、原子力災害が発生した場合には、原子力発電所から30km圏内の住民は、まずは、自宅等へ屋内退避し、その後の状況により、国の指示で、30km圏外の避難所へ一時移転することとなっている。

本県で、糸島市の一部（約1万5千人、約6千世帯）が、この30km圏内に含まれていることから、「地域防災計画」及び「広域避難基本計画」等を策定し、万が一の原子力災害に備えている。

今回、国、佐賀県及び長崎県と連携した広域避難訓練等を実施し、県民及び防災業務関係者の原子力防災対策の習熟及び意識向上、並びに防災関係者間相互の連携強化を図るもの。

2 日時

令和4年10月29日（土）8時～13時15分

3 場所

福岡県庁、糸島市役所 等

4 主催者

福岡県及び糸島市（佐賀・長崎県と連携）

5 参加者

機関数 103機関（自衛隊、警察、消防、原子力規制庁、九州電力 等）

参加者数 約1,220人（うち、住民参加 約670人）

6 訓練想定

新型コロナウイルス感染症流行下、九州電力株式会社玄海原子力発電所4号機運転中に、佐賀県内において地震が発生、その後、事故等複合事象により原子炉への全ての給水・注水機能等が喪失し、原子炉内の放射性物質が外部に放出された場合を想定。

県は、事態の進展に応じて、国、関係市町及び関係機関と連携し、地域防災計画等に基づく諸対策を実施する。

7 訓練内容

今年度の訓練は、以下のとおり。

(1) 情報収集・伝達訓練

原子力災害時に、県民の安全及び安心を確保するため、九州電力や国からの情報を、正確に収集し、関係機関や住民に伝達する。

- 国、3 県との間でテレビ会議を開催
- 九州電力や国からの情報収集、関係機関への情報伝達等
- 県が応急対策（緊急時モニタリング）の実施状況を把握
- 県が道路障害情報の収集・伝達
- 学校、幼稚園及び保育園への情報伝達（10 月 25 日実施。取材不可）

(2) 緊急時モニタリング訓練

避難指示等を国が出す際に参考にする「空間放射線量率」（一定時間内に空気中を通過する放射線の量）等を、県内各所で測定する。

- 空間放射線量率の監視強化
 - ・ モニタリングポスト（9 か所）におけるデータ収集頻度の増
 - ・ サーベイメータによる測定
 - ・ モニタリングカーによる測定
- 環境試料（水）の採取・測定
- モニタリングセンター（国）との情報伝達

(3) 広域避難訓練

万が一、原子力災害が発生した場合に備え、住民の「屋内退避」訓練を行い、更に、UPZ（原子力発電所から半径 30km 圏内）で高い放射線が確認された場合を想定し、「一時移転」（無用な被ばくを避けるため、一週間以内に当該地域から離れる）を行う。

○ 新型コロナウイルス感染症対策を講じた広域避難

避難所運営マニュアル作成指針等に基づき、新型コロナウイルス感染症対策を講じて広域避難を実施

- 屋内退避
- 避難行動要支援者避難支援
在宅の避難行動要支援者への確実な情報伝達や移動の介助を実施
- 交通規制・誘導
主要避難経路の通行止めを想定した交通規制・誘導及び迂回路による避難
- 愛護動物同行避難
- 介護老人保健施設などの社会福祉施設等利用者の広域避難
避難元施設、中継施設、避難先施設が連携して、要配慮者の避難を実施
- 離島（姫島）避難
放射線防護対策設備（はまゆう）で屋内退避を実施

(4) 原子力災害医療訓練

放射性物質による被ばくの抑制・低減及び、汚染の拡大防止を適切に実施するために、避難退域時検査・簡易除染等を行う。

- 避難退域時検査・簡易除染
避難先でバス、自家用車及び住民の避難退域時検査、簡易除染を実施

- 安定ヨウ素剤の緊急配布
避難者に安定ヨウ素剤の緊急配布を実施（訓練では『模擬薬』を配布）
- 健康相談
県と放射線技師会が連携して、福岡市、志免町の避難所で健康相談・健康講話を実施
- **㊦被ばく傷病者等搬送**
 - ・（出勤前）救急現場の被ばく可能性（放射線量）を試算（国新システムを活用）
 - ・（現場活動）負傷者救急活動（糸島市消防本部敷地内）
 - ・（帰署時）消防隊員の汚染検査